



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ
DEAF PUPPET THEATER HITOMI

〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31(公財)現代人形劇センター

TEL:044-777-2228 / FAX: 044-777-3570

E-mail : deaf@puppet.or.jp / URL:http://deaf.puppet.or.jp/



by 大里千尋

日々制作...



by 大木翔吾

デフパペに入ってから、季節の感じ方が変わりました。というよりは今までは、どのように季節を感じるか、なんてあまり考えたことがありませんでした。

なぜそんなことを考えるようになったかという、先日、デフパペの事務所にもウグイスの鳴き声が聞こえ、事務所にいた聴こえるメンバーは「ああ、春だねえ・・・。」としみじみ話していたのですが、その場にいた榎本さんは涼しい顔をしていました。「ああ、そうか、榎本さんにはこの「春」は分からないんだ。音にも季節ってあるんだ。」とその時に初めて気が付きました。

考えてみれば、風鈴の音で夏を感じますし、鈴虫の鳴き声で秋、冬は町に鳴り響くクリスマスソング・・・。

知らず知らずに当たり前に感じていた季節でしたが、その中でも人それぞれ違う感じ方があるということ。「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」の中でのオルゴールの「音」を表す音符マークはこういう感覚の違いから生まれたのですよね。その感覚の違いをどのようにお互いが理解できるように表現するか、デフパペは難しい課題に32年間向き合ってきたのですから、本当にすごい。(自画自賛?)

今年度も新しいことにたくさん挑戦していきたいです。

『体調管理も仕事のうち』

こんにちは。兄弟3人共に同じあだ名のボンちゃんです(タレントの大木凡人さんが元ネタ)。

さて、みなさんは健康管理どうしてますか?もう安心の季節ですが、運悪くインフルエンザになってしまったら本人の意思に関係なく閉門蟄居ということになってしまいますね。これが例えば、ある程度の規模の会社であれば、誰かが体調不良で休んだとしても全体が機能不全に陥るといったことは無いでしょう。ところが劇団はそうはいきません。役者一人一人が、替えのきかない職人ですからね(もちろん制作者も)。

話を健康管理に戻しましょう。私、高校生の時に腰痛を、成人してからはむち打ち症を修得済みと怪我のベテランでありますからして健康には気を使います。布団は西〇、椅子はリー〇チェア、ブルーライトカットメガネに、奥の手はせんね〇灸。ポンドジャパン最強の布陣でございます。お灸いいですよ、お灸。お試しあれ。

まあ、何に於いてもですが、プロにとっては体調管理も仕事のうち!

デフパペ公演を楽しみにしてくれているお客様に、最高の演技をお届けするのです。

☆NEW! 制作メンバー紹介☆☆本宮麻希子

4月よりデフ・パペットシアター・ひとみの制作として働いています、本宮麻季子です。

これを書いている今はまだ勤務1週間ぐらい。まだまだ分からないことだらけですが、これからバリバリ仕事を覚えていきます! そんな超新米の第一課題は「手話」。いざやってみると、指が開かない・・・スピーディーに動かせない・・・先日は数字の「8」で小指を握りました。もはや手話以前の問題では! ?こちらも精進します。

さて、そんなド素人でも感動してしまうデフ・パペットシアター・ひとみの公演! お近くで公演の際にはぜひ観にいらしてください!

デフ・パペットシアター・ひとみ 友の会会員募集中!

年会費 1,500円 ペア会員 2,500円
お申込み方法はデフパペ事務所までお問い合わせください。

デフ・パペットシアター・ひとみ

やなせけいこ	榎本トオル	大木翔吾
善岡修	鈴木文	大里千尋
牧野英玄	白井赫	本宮麻希子

デフパペイズム

みなさん、今日は。久しぶりのデフパペイズムです。

去年から今年にかけて新しいメンバーが4人入って来ました。そこで、改めてデフ・パペットシアター・ひとみのキャッチコピーである「ろう者と聴者が共につくる」という言葉について話しました。

このコピーについて、以前「どうしてわざわざろう者が居ることを強調するのか。芝居が面白いことが肝心で、メンバーの構成は関係ないではないか」といった意見もありました。

この言葉は、ろう者と聴者が一緒に活動しているという事実のお知らせであると同時に、ろう者と聴者が共につくることで、今までにない新しい表現をつくって行こうという、劇団の目標でもあります。

実際デフパペでどんなことが生まれたか、見てみましょう。例えば、聴者の新人が入ってくると手話を使わず、意思疎通がスムーズに行かないといったことが起こります。その経験から、ろう者Yは手話の判らない人に伝える表現手段を磨き、コミュニケーションをテーマにしたワークショップを行っています。また聴者Yはろう者と一緒に活動することで音楽の世界が広がりました。耳だけでなく身体全体、視覚的に感じる音楽。直近の作品でいうと「はこ/BOXES」で使われる、オルゴールの音色にあわせて動く「音符」の小道具は、ろうメンバーの発想から生まれました。

デフパペのメンバーは聞こえない人と聞こえる人の違いがあることをお互いに認めて活動しています。その違いは、ろう者にとっても聴者にとってもストレスフリーではありません。たとえ手話を流暢に操っても気持ちが伝わらないこともあります。これはデフパペで活動して行く限り、常に起こり得ることです。でも、みんなデフパペでしかつくれない、面白い芝居をつくるために集まっています。

このキャッチコピーは、デフパペの道標であることをみんなで確認しました。デフパペは、ろう者と聴者がぶつかって作品を生み出している、一人一人の違いを認め、違う人間同士がぶつかって作品をつくっている、最高に面白い芝居を作るために！

最後に若手のこんな言葉で締めくりたいと思います。

「公演はやっぱり楽しいね！舞台でお客さんからもらう拍手！終演後ロビーでお客さんと交わす握手、『ありがとう』という言葉、笑顔！！これがあるから止められない！！！」

デフパペメンバー一同

劇団員募集！！

おもしろい作品と一緒に創りましょう

- ◆デフ・パペットシアター・ひとみ？？？と思った人
- ◆人形劇をやっている人・人形劇に興味がある人
- ◆表現することに興味がある、舞台に立ってみたいけど…とちょっとでも思ったら…すぐにご連絡下さい！！

ろう者・聴者は問いません。手話はできなくても大丈夫。だんだん自然に覚えられます。

デフ・パペットシアター・ひとみは

*ろう者と聴者が一緒につくるプロの人形劇団です。

*今年で創立32年目になります。

*人形の動きを中心に、マイム、手話やパネルを使った「目で見るセリフ」、ダイナミックなパーカッション等、誰もが見て・聞いて・楽しい人形劇を創ることを目指して活動しています。

*日本全国各地で地域の人たちと一緒に作っていく公演は、とても温かい気持ちになります。

*視覚的に楽しめる作品が多いので海外へも公演に行くことがあります。

お問い合わせ・ご連絡は、デフパペ事務所、担当 やなせけいこ まで！

ご挨拶

挨拶が遅くなりましたが、この春、3年間お世話になったデフパペを卒業し、4月から新しい道を歩み始めました。平日は保育園で毎日成長している小さな子どもたちと過ごし、休日は手話通訳の勉強をしています。

劇団で過ごしてきた事は、常に私の心の中に強くあります。全国のデフパペを応援して下さいの方々との出会いは私にとってとても新鮮で刺激的で、思い出す度に心が踊ります。デフパペがたくさんの方に支えられているのと同じように、私も周りの方々に活かされている…デフパペにいたことで強く感じられるようになった事です。これからも出会いを大切に、感謝していきたいと思えます。これからは、手話・こどもたち・人形劇・デフパペをつなげるお手伝いが出来たらと思っています。

今までありがとうございました。そして、これからもデフパペをよろしく願います。
富安優子(とみ)

公演スケジュール

4月～8月 (4月20日現在)

「森と夜と世界の果てへの旅」

5月17日(金) 長野県松本市 まつもと市民芸術館 (開演19:00)

6月20日(木) 大阪府高槻市 高槻現代劇場中ホール (開演19:00)

6月22日(土) 兵庫県豊岡市 豊岡市民プラザ(開演14:00)

8月31日(土) 静岡県浜松市 浜松市福祉交流センター

2014年3月28日～30日 横浜公演決定！

神奈川県芸術劇場にて3日間で4回公演
みなさまどうぞご期待下さい！！！！

「はこ/BOXES～じいちゃんのオルゴール♪」

5月25日(土) 新潟県南魚沼市
コミュニティホール「さわらび」(開演15:00)

「稲むらの火」

★4月27日(土) 東京都調布市立第一小学校
5月12日(日) 岡山国際交流センター 国際会議場
11:00/14:00

各回定員200名無料ご招待。お申し込み方法はデフパペ事務所までお問い合わせ下さい。

「一寸法師とおたのしみ交流会」

7月7日(日) 長野県諏訪市 下諏訪人形劇まつり
8月6日(火) 長野県飯田市 いいだ人形劇フェスタ
8月18日(日) 香川県高松市 さぬきこどもの国

「人形劇創りワークショップ(榎本・牧野・やなせ)」

★埼玉県特別支援学校坂戸ろう学園
5月20日(月)・6月10日(月)・7月10日(水)
★東京都立葛飾ろう学校
6月7日(金)・6月11日(火)・6月13日(木)

「人形作り+音のワークショップ(やなせ・善岡)」

7月20日
7月21日 川崎市民プラザ

「人形芝居とステージ交流(榎本・牧野)」

5月29日(水) 大和市

追加・変更される場合もありますので、詳しくはデフパペ事務所にお問い合わせ下さい。

「人形」其の七

先日或る人から「貴公はこの連載で縄文の土偶の祀りが、現在の祭りに受け継がれているというようなことを言うたが、法螺も好い加減にし給え。縄文の土偶は地母神だと言われているだろ。現代の祭りにそんな古臭い神を祀ったりしていないだろ。素人研究者の思い付きそうな悪い癖だ」と叱られた。

口調からも解るように相手は僕より年上だ。アーイヤダこの頃はやたら元気な年寄りが増えた。これだから戦前生まれは嫌われルヨ！

土偶の問題は面倒臭いから避けていたのだけどころ言われては仕方ないやりましたよ。

縄文の土偶が地母神的な存在であろうと無かろうと私の論旨にあまり関りない。

縄文文化は曙期、早期、前期、中期、後期、晩期に今のところ時代別けされている。始発の時期は青森の方で16000年程前の土器が見付かっているが、これは中国で生まれた土器を持つ文化の一種であったと思われるが、12000年程前には大陸から離れたローカルな文化になっていたと思う。終末は地域によって異なるが、異論も有ろうが、2500年程前から1800年前にかけてであろう。これは福岡県の板付遺跡のⅠ式土器を弥生式とは認めず、当然それ以前の稲作は縄文文化期に附属するという見解である。同一地域で10000年に及んで同一系統の文化が継続した例は珍しいだろう。まあ縄文も西と東では異なる文化だったと考える研究者もいるが、お隣の朝鮮半島の北と南の違いより少ないだろう。

この間曙期の土器から晩期の土偶まで一貫した性格と見て良いのだろうか。そうであれば縄文は停滞した文化といえるが、実際には孤島の文化としてはダイナミックな活動と変化をしていた。縄文時代って歴史学としてはいつの時代とされているかという、新石器時代と認める条件としては、磨製石器と土器を持っていること、これは縄文も適合するが、一番重要なのは農耕社会であることだが、縄文はこれに当てはまらない。縄文にも農耕はあったと大勢の研究者が頑張ったので縄文の時代にも農耕が存在したことは常識となっているが、その栽培実態は農耕社会とは言えない小規模なものだったようだ。

縄文というと単純で貧しいけど長閑だったというわけでも無かったようだ。第一に自然環境の変化だ。最終的冰間期の温暖化で海進が始まり日本は大陸と分離し、縄文文化の成立を促した。それでも一万年程前の瀬戸内はまだ海ではなかった。香川県の黒島の縄文早期の貝塚はシジミを主体としているので汽水域であった。海進の最も進んだのは縄文前期のことで、そこで形成された深い入り江、溺れ谷や干潟は関東始め各地域に縄文文化を豊かにした貝塚を伴う集落が生まれていった。東京湾岸の後期の巨大貝塚の2～3メートルの厚みのカキ、ハマグリ、ハイガイなどの単純貝層、他の貝類や野獣土器片などを含まない貝層は発掘に当たった研究者には「何でこんなにハマグリばかり喰いやがんだよー」とボヤかせるのである。或る学者は「この辺の縄文人は蛋白質過剰で若死したに違いない」と結論した程だ。これは5、60人の集落で消費する量ではない。これは黒曜石などとの交易のための生産である。

縄文には市場はなかった。しかし絶対交易の必要なものもあった。それは海岸からの塩分と特定の地でしか採掘されない黒曜石などである。縄文早期末にはすでに交易のシステムがあったと考えている。千葉市の辺から三浦半島まで東京湾岸に分布する茅山(かやま)式土器は、核となるような貝塚が点々とあるが、そこに共通するのは長さ5メートル、幅2メートル、深さ2メートル程の坑炉である。底部と四壁は土が厚く真赤に焼けている。たまたま土器を焼いたものではなく、毎日連続して何かを焼いていたのだ。愚案では海水を掛けては干した海草を連日この炉で焼いてその灰を採取していたものでこの灰塩をもって交易したのではないかと思う。茅山式は関東一円に分布しているが内陸には目立った遺跡は少ない。ただ関東南部の丘陵地帯には点々というよりほとんど連続してごく少量の茅山式土器が散布している地帯が何本かある。それはけもの道ではないが茅山道というもの存在を思わせる。7000年も前の時代にそんなシステムが成立するのかと疑問を持たれるかも知れぬが、同時代のアラビア半島のバーレーンの遺跡に見るのは遠く離れたインダス文明とメソポタミア文明の中間で貿易を行っていた。だから縄文だって海岸と内陸の交易ぐらいやるでしょう。(オイ！人形の話はどうなった！)の声あり。だから言っただろう。話がややこしくなるから嫌だ。 (さしたる目処もなく次号に続く)

文：宇野小四郎